

北公民館

お年寄り・女性・子ども みんなが交流

交流グラウンドゴルフ・二世代しめ縄づくり

北公民館では、交流活動として「女性の集いおかだ」と「老人クラブを中心とした寿大学」が軽スポーツを通して交流を図る「交流グラウンドゴルフ大会」と小中学生たちにも呼びかけての「二世代交流しめ縄づくり」を実施しています。

▼入魂の一打



「交流グラウンドゴルフ大会」は、寿大学から各地区1チームずつ計8チーム、「女性の集いおかだ」から2チーム、合計10チームが出場し、11月16日（金）、昌農内コミュニティ広場で行われました。

▼わらの香りに包まれたしめ縄づくり



「二世代交流しめ縄づくり」は、伝統行事の伝承と世代を超えた交流を目的として実施しています。12月8日（土）、北公民館で行われましたが、今年度は大勢の小中学生が参加し、活気のある交流会となりました。

この日のために練習を積み重ねてきた方もおられ、歓声と激励の中、一打一打に力が入ります。天候にも恵まれ、さわやかなふれあいがありました。

▼立派なしめ縄を玄関に飾るぞ!



それぞれの熟練度に応じてしめ縄づくりを行いました。初めて作る小中学生がほとんどで、縄のない方からの勉強です。講師のお年寄りの方から手とり足とりの指導を受け、立派なしめ縄を完成させていました。

頃合いをみて、「女性の集いおかだ」の皆さんから美味しいぜんざいが振る舞われました。一同自分で作ったしめ縄を大切にしながら家路につきました。きつとお正月には各家の玄関などを飾ったことでしょう。

保育シリーズ

日々思ひいよ

小富士保育所保育士

日野 恭子

保育士になって2年目。昨年に引き続き、2歳児の担任をしています。1年前は、右も左も分からない状態でしたが、今は少しずつ子どもたちの姿が見えはじめ、戸惑いながらも自分なりに喜びを感じる日々を過ごしています。そんなある日、お昼寝前のことでした。着替えを済ませたA君が、いつもの様に遊んでいました。A君の側で、なかなか思い通りに着替えができません。悪戦苦闘しているB君の姿がありました。私が手伝おうと思ひ、声を掛けようとした時です。側に居たA君がやって来て「してあげろ。」と優しく服の袖を引っぱって脱がしてあげたり、ボタン掛けを手伝い始めました。無事、着替えが終わると、「手伝ってくれて、ありがとう。」とお礼を言ったB君に対して、「いいえの。」とA君が答え、二人はニコニコしながら仲良く遊び始めました。それは、とても微笑ましい光景でした。



年度当初は、自分のことだけで精一杯だった子どもたち。なのに、自分のすることに自信ができ、友だちへの思いやりの気持ちも芽生えはじめ、なんだか急に大きく立派に成長したように感じました。3歳になったばかりなので、まだまだ保育者が立ちながら見守っていくことはたくさんあります。でも、保育所という集団で生活する中でこそ生まれてくるものを大切に、ゆとりのある保育を楽しんでいけたらと思います。これからも、子どもたちのいろいろな思いを受け止め、ともに成長していくことのできる保育者でありたいと願っています。